

## 令和7年度 都城市立志和池小学校 学校運営協議会委員評価書

学校経営ビジョン	家庭・地域との連携・協働を基盤に、学校と地域の強みを生かした教育活動の推進により、自分のよさや可能性を認識し生かしながら、よりよく伸びようとする人間力あふれる児童の育成を目指す。また、その過程をとおして、地域とともに発展する「開かれた学校づくり」を推進する。				
学校の教育目標	心身ともに健康で、よく学び、正しく判断できる児童の育成				
めざす児童像	かしこく やさしく たくましく				
重点目標	自らの考えを出し合い高め合う児童の育成（指導方法の工夫改善） 一人一人が自分のよさを発揮しよりよく生活できる教育活動と教育環境づくり			評価の基準 4…非常によく達成されている 3…達成されている 2…どちらかといえば達成されている 1…達成されていない	
評価項目	自己評価の結果			学校の自己評価（成果と課題）	
	職員	保護者	児童	学校運営協議会委員の評価	改善策
				評価	学校関係者評価コメント

【自らの考えを出し合い高め合う児童の育成】 評価の基準 4…よく当てはまる 3…当てはまる 2…どちらかといえば当てはまる 1…当てはまらない

項目	職員	保護者	児童	内容	評価	評価	コメント
1 子どもたちが主役となる授業改善 ○ ICTの効果的活用 ○ 子どもたちが主体的に学ぶ授業の工夫				<ul style="list-style-type: none"> <li>職員研修において、11月のLDX授業公開を見据えて全員が研究授業を行い、子ども達が主役となる授業改善に取り組むことができた。</li> <li>授業の改善にあたっては、自己調整学習と他者参照に重点を置き、大きな改革を行うことができた。特に上学年においては、クラウド環境を活用することで、志和池小スタイルを確立することができた。</li> <li>6年生を中心として積極的に地域素材の活用を図ることができた。</li> <li>初期研修を中心に道徳の研究授業も数回実施することができた。</li> <li>1人100冊目標を掲げたことと、図書館サポーターの工夫により、読書量が昨年度を大きく上回った。</li> <li>新聞活用が十分ではなく、その結果がマイナス評価となり、平均3.5を超えることができなかった。新聞を含め、読み物資料を活用して、読み取る力をつけていきたい。</li> <li>児童が主体的に取り組む運動会を行ったことで、地域や保護者が満足できる体育行事を実施できた。</li> </ul>	3	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用について志和池小スタイルが確立されている。特に高学年においては、主体的に学ぶ授業の工夫が見られた。</li> <li>LDXの公開授業が素晴らしかった。児童を真ん中にした学校経営、学級経営だと思う。</li> <li>子ども主体の授業ができてきていると思う。</li> <li>教職員の児童に対する指導が熱心で、保護者も児童の学習に熱心で、志和池小は非常にレベルが高いと思う。</li> <li>小学校時代の読書習慣は、大事である。1人100冊目標は素晴らしい。給食時間に感想文の発表等あると思う。</li> <li>読書量を増やすために、多読賞の児童がどんな時間を使い本を読んでいるかを紹介すれば、保護者にも参考になると思う。</li> <li>新聞読み聞かせが新聞活用につながると思う。</li> <li>児童が主体的に取り組む行事は、教職員の方向付けや褒め、認めていることが見て分かった。</li> </ul>
2 地域の教育資源を活用した授業の工夫	3.0	3.0	3.3				
3 自分ごとで考える道徳科授業の実践							
4 読書活動と新聞活用の推進							
5 体育科学習指導の工夫及び運動遊びの励行							

【一人一人が自分のよさを発揮しよりよく生活できる教育活動と教育環境づくり】

項目	職員	保護者	児童	内容	評価	評価	コメント
1 ポジティブ行動支援による心理的安全性の確保と発達支持的生徒指導の推進				<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導研修の中で、ポジティブ行動支援についての職員一人一人の学びを深めてきた</li> <li>毎月教育相談を実施し、いじめ等問題行動等の早期発見、早期解決に取り組んだ。いじめ事案についても積極的認知に努め、解決することができた。</li> <li>「ありがとうがあふれる学校にしよう」を合言葉に、自己肯定感を高める学校経営・学級経営を進めてきた。「ありがとう」を意識した取組で児童の意識の向上が見られた。</li> <li>学校が楽しいと回答した児童は91.6%、よさを認めて励ます教育について3以上と回答した保護者は89.9%で、おおむね良好である。</li> <li>地域の方々の協力が非常にありがたい反面、地域への貢献は、十分ではないと感じる。</li> <li>数件、低学年児童の飛び出しに関する情報提供があったが、都度対象児童に指導するとともに、全体でも指導を行った。</li> <li>食育について保護者向け講演会を実施した。睡眠についても啓発したい。</li> </ul>	3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が「喜んで登校、満足して下校」していることが嬉しい。</li> <li>学校が楽しいの回答が91.6%は、先生たちの子どもに対する向き合い方や愛情の結果だと思う。よい友があり、よき先生に恵まれ満足感、充実感を実感できる学校が、児童にとって心休まる場である。</li> <li>いじめ等がある難しい時代、今後子ども目線で子ども中心の「子どもがまんなか」の教育であってほしい。</li> <li>教職員の児童に対する指導とよりよい人間関係づくりに努力しているから、学校が楽しいと答える児童が多いのだと思う。</li> <li>学校全体で児童を見守り、育てているのが分かる。</li> <li>各地区の育成会行事の減少、習い事などで土日の行事に参加できないこと等、仕方ないと思うが、参加者が少なくても、地域の方々と交流できる行事等を継続していく事に意義があると思う。</li> <li>日頃の挨拶ができていないと「ありがとう」の言葉は出ないと思う。訪問した際は、「こんにちは」と挨拶してくれる。</li> <li>家庭での会話があるのかが気にかかる。</li> </ul>
2 子どもの困り感によりそう体制づくり	3.3	3.1	3.5				
3 地域のよさや課題について考える教育活動 ※ 総合的な学習の時間の充実							
4 安全教育の充実 ○ 危険予知・危険回避能力の育成 ○ 地域見守り活動との連携							
5 「早寝・早起き・朝ご飯」「弁当の日」の推進							

【家庭・地域との連携・協働の教育活動】

項目	職員	保護者	児童	内容	評価	評価	コメント
1 学校運営協議会の充実及び学校支援ボランティアとの連携				<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に運営協議会を実施し、授業の様子や学校行事の様子を見ていただき意見をいただくことができた。</li> <li>協議会の中で「がね作り」や「ミシンボランティア」等、連絡や打ち合わせをすることができ、学習の充実につながった。</li> <li>「棒踊り」の伝承が、児童の主体的な活動により六月灯での伝統復活という地域興しに繋がった。</li> <li>保護者からの相談には、100%対応することができた。しかし、相談までに至っていない課題も散見される。</li> </ul>	3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営委員として学校を見ることができてよかった。</li> <li>授業の様子やホームページから職員の努力や子どもたちの活気が伝わってくる。</li> <li>棒踊りやがね作り、ミシンボランティア等、地域との連携は、うまくいっていると思う。</li> <li>歴史のある棒踊りが、復活が地域興しに繋がって素晴らしいと思った。</li> <li>地域に目を向け、地域を知ることで地域愛が育つと思う。今後も地域との交流を広げ、地域の発信をしていけば、故郷の発展に繋がると思う。</li> <li>子どもからの提案が実現できていることが成功につながっていると思う。</li> <li>どの程度から相談してよいか悩んでいる保護者も多いと思う。どんな小さなことでも相談できる環境を整えていく必要がある。</li> </ul>
2 民俗芸能の伝承と地域教育資源活用による特色ある教育活動の展開							
3 家庭(保護者)との相談充実	3.4	3.1	3.3				

・ミシン学習やガネ作り等、若い世代の講師を育てる取組を始めたい。  
・水琉神社の六月灯で踊りたいという児童の意欲と実践が次につながるような仕組み作りに取り組みたい。  
・6年生に限らず、全学年で地域との交流を学習の中に取り入れている。この学習の中で、学んだことを地域に返すことで、地域とつながりを、より強いものにしていきたい。  
・児童も保護者も直接、気軽に校長に相談できる、声を届けられる窓口を設置したい。